

# 実 技 試 験

平成23年9月

3級ファイナンシャル・プランニング技能検定 実技試験  
資産設計提案業務 (FP協会)

☆☆☆解答に当たっての注意事項☆☆☆

- ・ 試験問題については、特に指示のない限り、平成23年4月1日現在施行の法令等に基づいて解答してください。
- ・ 次の各問について答えを1つ選び、その番号を解答用紙にマークしてください。

【第1問】下記の（問1）、（問2）について解答しなさい。

問1

ファイナンシャル・プランニング業務を行ううえでは、関連業法を順守することが重要である。ファイナンシャル・プランナー（以下「FP」という）が押さえておくべき関連業法に関する次の記述のうち、最も適切なものはどれか。

1. 税理士資格を有していないFPでも、顧客の税務書類を作成することができる。
2. 生命保険募集人の登録をしていないFPでも、生命保険商品を組み入れたライフプランの提案を行うことができる。
3. 投資助言・代理業の登録をしていないFPでも、顧客と投資顧問契約を締結し、当該契約に基づいて、特定の有価証券の動向や投資判断について助言をすることができる。

## 問2

下記は、会社員の辻さんの家庭のキャッシュフロー表（一部抜粋）である。このキャッシュフロー表に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。なお、計算に当たっては、キャッシュフロー表中に記載の整数を使用することとし、計算結果は万円未満を四捨五入することとする。

<辻家のキャッシュフロー表>

(単位：万円)

経過年数			現在	1年	2年
西暦(年)			2011	2012	2013
平成(年)			23	24	25
家族・年齢	辻 健一	本人	48歳	49歳	50歳
	綾子	妻	46歳	47歳	48歳
	未来	長女	18歳	19歳	20歳
	健斗	長男	16歳	17歳	18歳
ライフイベント		変動率	健斗高校入学	未来大学入学	
収入	給与収入(夫)	1%	688		
	給与収入(妻)	—	100	100	100
	収入合計	—	788		
支出	基本生活費	1%	276		(ア)
	住宅関連費	—	127	127	127
	教育費	2%	180	260	
	保険料	—	49	49	49
	一時的支出	—	60		
	その他支出	—	20		
	支出合計	—	712		
年間収支		—	(イ)	40	
金融資産残高		1%	496	(ウ)	

※年齢は各年12月31日現在のものとし、平成23年を基準年とする。

※記載されている数値は正しいものとする。

※問題作成の都合上、一部空欄にしてある。

1. 空欄(ア)に入る数値とその求め方：「 $276 \times (1 + 0.01)^2 = 282$ 」
2. 空欄(イ)に入る数値とその求め方：「 $788 - 712 = 76$ 」
3. 空欄(ウ)に入る数値とその求め方：「 $496 + 40 = 536$ 」

【第2問】下記の（問3）～（問5）について解答しなさい。

問3

下記<資料>の用語に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

<資料>

<b>主要指標</b>		22日				
(注) ①は1部、②は2部市場						
<b>株 式</b>						
( a )	日経平均 大引け (225種・東証)	9608円32銭	+401円57銭 +4.361%			
	日経300	騰落率 176.19	+7.62			
	日経500平均	騰落率 832円51銭	+4.520% +31円85銭 +3.977%			
	日経JAPAN1000	1022.44	+43.60			
	日経総合株価指数	276.38	+11.85			
	日経中国関連株50	995.74	+42.01			
	東証株価指数(①・総合)	騰落率 868.13	+37.74 +4.544%			
	単純平均(東証①全銘柄)	235円82銭	+11円07銭			
	マザーズ指数	454.15	+16.60			
	日経ジャスダック平均	1221円37銭	+54円24銭			
	JQ指数	51.32	+1.63			
	Jストック指数	1060.50	+20.71			
	日経ボラティリティー指数	36.01	-13.94			
	日経配当指数(2010年)	164円47銭				
	日経平均除数=24.869	倍率=9.047				
<b>売買高・売買代金・騰落銘柄数</b>						
( b )	東証①	東証②	大証①	大証②	ジャス ダック	
	◇売買高(万株)					
	365828	5727	3569	1770	4841	
	◇大商い10銘柄占有率(%)					
	26.2	52.2	65.9	69.5		
	◇売買高6日移動平均(千株)					
	4441616	82475	46187	25615	65795	
	◇売買代金(百万円)					
	2263545	7749	55190	1836	28667	
	◇売買単価(円)					
	618.7	135.3	1546.0	103.6	592.1	
	◇売買単価6日移動平均(円)					
	605.8	119.1	1603.1	88.1	523.3	
	◇騰落銘柄数					
	上場銘柄	1679	430	529	217	993
	値上がり	1615	366	98	149	810
	値下がり	49	19	6	8	76
	商い成立	1679	419	110	170	926
	◇立会外市場					
	東証	東証	大証	大証		
	売買高(千株)	179783	1243			
	売買代金(百万円)	135095	2585			
( c )	<b>東証・ジャスダックの時価総額・利回り・PER・PBR</b>					
	(連結ベース)					
	◇時価総額(億円)		◇株価収益率(PER、倍)			
	東証①	東証②	前期基準 予想			
	3001219	34500	① 225種	26.86	14.60	
	ジャスダック		① 300	26.32	15.01	
	91853		① 500種	28.19	15.41	
	・普通株式数(百万株)		① 全銘柄	27.55	15.32	
	東証①	東証②	② 全銘柄	34.28	14.75	
	383010	11846	ジャスダック	24.14	14.62	
	ジャスダック10674		◇株式益回り(%)			
	・1株当たり時価(円)		① 全銘柄	3.62	6.52	
	東証①	東証②	◇平均配当利回り			
	783.58	291.24	(%、売買単位換算)			
	ジャスダック		前期基準 予想			
	860.49		① 225種	1.64	1.86	
	◇純資産倍率		① 300	1.84	1.96	
	(PBR、倍、前期基準)		① 全銘柄	1.87	1.99	
	① 225種	1.14	同(加重)	1.87	2.07	
	① 300	1.15	② 全銘柄	2.11	2.16	
	① 500種	1.14	同(加重)	1.98	2.11	
	① 全銘柄	1.09	ジャスダック	2.20	2.31	
	② 全銘柄	0.70				
	ジャスダック	1.21				

日本経済新聞

2011年3月23日付

14面(マーケット総合1)

1. (a) の「日経平均」：「日経平均株価」の略称。日経225ともいわれ、東京証券取引所第一部に上場している銘柄のうち、代表的な225銘柄を用いて算出された株価指数である。
2. (b) の「売買高」：出来高ともいわれ、例えば、2,000株の売り注文に対して、2,000株の買い注文で取引が成立した場合、売買高（出来高）は4,000株となる。
3. (c) の「時価総額」：上場企業の価値を表す指標の一つであり、発行済み株式数にその時点の株価（時価）を乗じて算出される。

#### 問4

投資信託に関する次の記述のうち、最も適切なものはどれか。

1. 投資信託の分配金は、運用成果にかかわらず、運用会社から常に一定の金額が支払われる。
2. 株式の組入比率が20%の投資信託は、株式投資信託ではなく、公社債投資信託に分類される。
3. 投資信託のうち、いつでも購入できるタイプのものを「追加型（オープン型）」、募集期間中にしか購入できないタイプのものを「単位型（ユニット型）」という。

#### 問5

下記<資料>に基づく株式の評価尺度に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

<資料>

株価	600円
1株当たり配当金	15円
1株当たり利益	25円
1株当たり純資産	300円

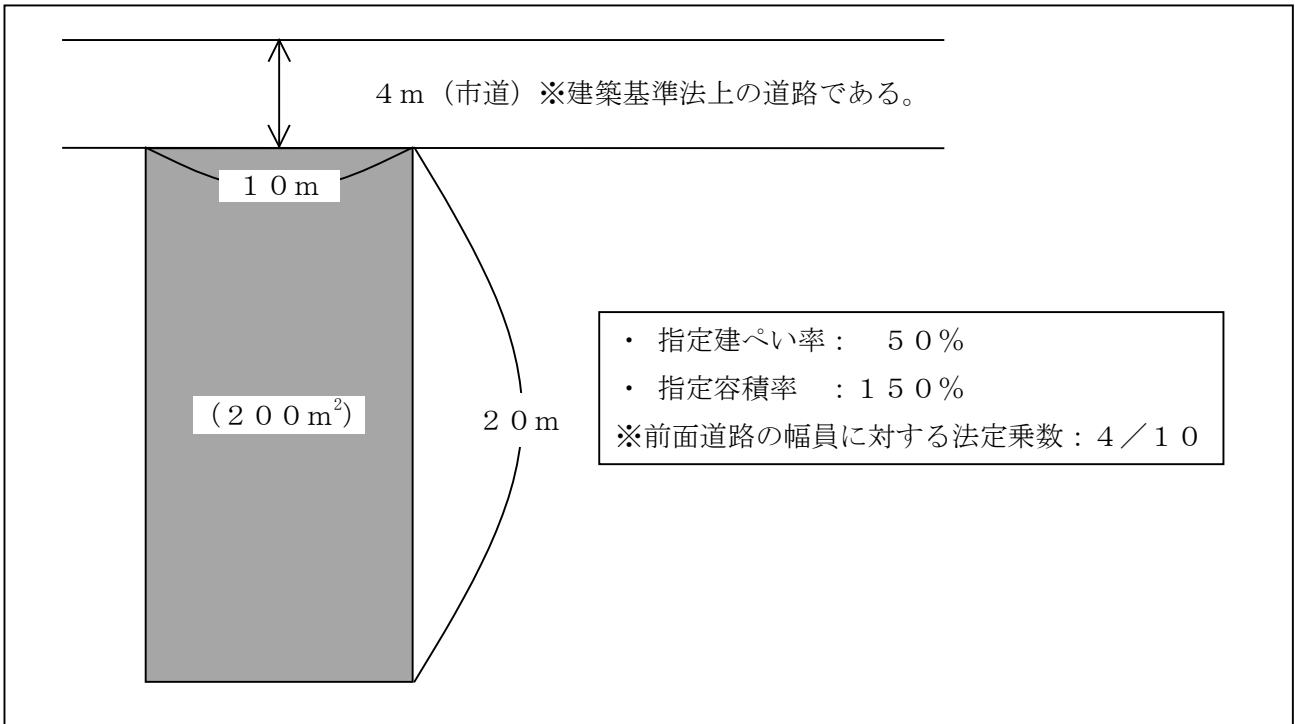
1. 配当利回りは、「 $15円 \div 300円 \times 100 = 5$ （%）」である。
2. 株価収益率（PER）は、「 $600円 \div 25円 = 24$ （倍）」である。
3. 株価純資産倍率（PBR）は、「 $600円 \div 300円 = 2$ （倍）」である。

【第3問】下記の（問6）、（問7）について解答しなさい。

問6

下記<資料>の土地に建築物を建築する場合の次の記述のうち、誤っているものはどれか。なお、記載のない条件については、一切考慮しないこととする。

<資料>



1. この土地は建築基準法上の道路に2 m以上接しているため、同法の接道義務を満たしている。
2. この土地に対する建築物の最大建築面積は100 m<sup>2</sup>である。
3. この土地に対する建築物の最大延べ面積は、指定容積率150%と前面道路の幅員（4 m）に4 / 10 を乗じた160%の、いずれか大きい数値を敷地面積に乗じて求める。

問7

公的な土地評価に関する下表の空欄（ア）～（ウ）にあてはまる語句の組み合わせとして、正しいものはどれか。

	公示価格	(イ)	固定資産税評価額
所管	国土交通省	国税庁	市町村
価格判定の基準日	毎年（ア）	毎年1月1日	基準年度の前年の1月1日 （（ウ）評価替え）
用途・目的	一般の取引価格の指標	相続税・贈与税等の算出の基礎	固定資産税等の算出の基礎

1. (ア) 1月1日                      (イ) 相続税路線価                      (ウ) 3年に1度
2. (ア) 4月1日                      (イ) 相続税路線価                      (ウ) 5年に1度
3. (ア) 1月1日                      (イ) 実勢価格                              (ウ) 5年に1度

【第4問】下記の（問8）～（問10）について解答しなさい。

問8

三上幸雄さんが契約者および被保険者として加入している生命保険（下記＜資料＞参照）の保障内容に関する次の記述の空欄（ア）にあてはまる金額として、正しいものはどれか。なお、保険契約は有効に継続しているものとし、幸雄さんはこれまでに下記＜資料＞の保険から保険金および給付金を一度も受け取っていないものとする。

＜資料＞

保険証券記号番号 ○○△△××□□	定期保険特約付終身保険		
保険契約者 三上 幸雄 様	被保険者 三上 幸雄 様 契約年齢37歳 1973（昭和48）年8月15日生まれ 男性		保険契約者印  ◇契約日（保険期間の始期） 2010年12月12日 （平成22年） ◇主契約の保険期間 終身 ◇主契約の保険料払込期間 60歳払込満了
受取人 （死亡保険金） 三上 民子 様（妻）	受取割合 10割	(三上)	
◆ご契約内容		◆お払込みいただく合計保険料	
終身保険金額（主契約保険金額） 300万円 定期保険特約保険金額 1,500万円 生活保障特約年金年額 200万円 特定疾病保障定期保険特約保険金額 200万円 災害入院特約 [本人・妻型] 入院5日目から 日額5,000円 疾病入院特約 [本人・妻型] 入院5日目から 日額5,000円 不慮の事故や疾病により所定の手術を受けた場合、手術の種類に応じて（入院給付金日額の10倍・20倍・40倍）手術給付金を支払います。 生活習慣病入院特約 入院5日目から 日額5,000円 リビングニーズ特約 ※妻の場合は、本人の給付金の6割の日額となります。 生活保障特約の年金種類 5年確定年金		毎回 ****円/月 [保険料払込方法（回数）] 団体月払 ◇社員配当金支払方法 利息をつけて積立 ◇特約の払込期間および保険期間 10年	

三上幸雄さんが、平成23年中に、急性心筋梗塞（特定疾病に該当する）により急死した場合に支払われる死亡保険金は、一時金合計（ア）である。また、生活保障特約から年金年額200万円が5年間支払われる。


1. 1,800万円
2. 2,000万円
3. 2,200万円



問9

小山貴博さんが契約者および被保険者として加入している医療保険（下記＜資料＞参照）の保障内容に関する次の記述の空欄（ア）にあてはまる金額として、正しいものはどれか。なお、保険契約は有効に継続しているものとし、小山さんはこれまでに下記＜資料＞の保険から保険金および給付金を一度も受け取っていないものとする。

＜資料＞

保険種類 医療保険（無配当）		保険証券記号番号 △△△-××××	
保険契約者	小山 貴博 様	ご印鑑	◆契約日 2010年11月1日 ◆主契約の保険期間 終身 ◆主契約の保険料払込期間 終身
被保険者	小山 貴博 様 契約年齢 26歳 男性 1984（昭和59）年10月23日生まれ		
<b>■ご契約内容</b>			
給付金の内容	給付金額	保険期間	
入院給付金	日額 5,000円 ＊病気やケガで1日以上継続入院のとき、入院開始日からその日を含めて1日目から支払います。 ＊同一事由の1回の入院給付金支払い限度は60日、通算して1,000日となります。	終身	
手術給付金	給付金額 入院給付金日額×10・20・40倍 ＊所定の手術を受けた場合、手術の種類に応じて（入院給付金日額の10倍・20倍・40倍）、手術給付金を支払います。		
通院給付金	日額 3,000円 ＊病気やケガで1日以上継続入院後、入院と同一事由で通院したとき、通院給付金を支払います。 ＊同一事由の1回の通院給付金支払い限度は30日、通算して700日となります。		
<b>■保険料の内容</b>		<b>■その他付加されている特約・特則等</b>	
払込保険料合計 <span style="float: right;">*****円</span> 払込方法（回数）：年12回 払込期月           ：毎月		保険料口座振替特約 ＊以下余白	

小山さんが、平成23年中に、交通事故により負傷し、その後、病院で給付倍率10倍の手術（1回）を受けて、通算20日間入院した場合、支払われる給付金の合計は、（ア）である。

1. 5万円
2. 10万円
3. 15万円

### 問10

下記は、個人年金保険の年金種類とその特徴についてまとめた表である。下表に関する次の記述のうち、最も適切なものはどれか。

種類	特徴
(ア)	契約時に定めた年金受取期間中、被保険者が生存している場合に限り、年金が支払われる。年金受取期間中に被保険者が死亡した場合、その後の年金の支払いはない。
(イ)	被保険者の生死に関係なく契約時に定めた一定期間、年金が支払われる。年金受取期間中に被保険者が死亡した場合、残りの期間に対応する年金または一時金が被保険者の遺族に支払われる。
(ウ)	被保険者が生存している限り、一生涯年金が支払われる。年金受取開始後、被保険者が死亡した場合、その後の年金の支払いはない。

1. 空欄（ア）に入る語句は、「確定年金」である。
2. 空欄（イ）に入る語句は、「有期年金」である。
3. 空欄（ウ）に入る語句は、「終身年金」である。

【第5問】下記の（問11）について解答しなさい。

問11

大嶋雄治さんは平成23年1月に新築のマンションを取得し、新たに不動産賃貸業を開始した。このマンションの建物部分に係るデータが下記＜資料＞のとおりである場合、大嶋さんの平成23年分の不動産所得の金額の計算上、必要経費に算入される建物の減価償却費の金額として、正しいものはどれか。

＜資料＞

- ・ 取得価額 : 30,000,000円
- ・ 取得年月 : 平成23年1月
- ・ 耐用年数 : 47年
- ・ 業務供用月数 : 12ヵ月
- ・ 償却率（抜粋）

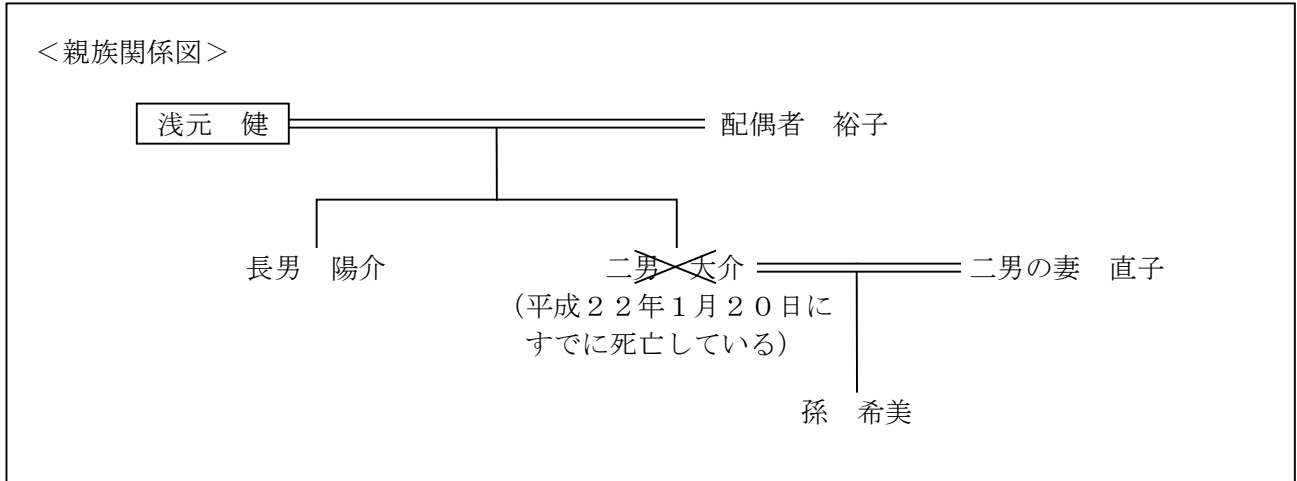
耐用年数	定額法	定率法
47年	0.022	0.053

1. 594,000円 ( $= 30,000,000円 \times 0.9 \times 0.022 \times 12ヵ月 / 12ヵ月$ )
2. 660,000円 ( $= 30,000,000円 \times 0.022 \times 12ヵ月 / 12ヵ月$ )
3. 1,590,000円 ( $= 30,000,000円 \times 0.053 \times 12ヵ月 / 12ヵ月$ )

【第6問】下記の（問12）～（問14）について解答しなさい。

問12

下記の＜親族関係図＞において、平成23年9月11日に浅元健さんが死亡した場合の民法上の相続人に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。なお、記載のない事項については、一切考慮しないこととする。



#### 問 1 4

下記は、遺言の方式とその特徴についてまとめた表である。下表の空欄（ア）～（ウ）に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

	自筆証書遺言	公正証書遺言	秘密証書遺言
作成方法	（ア）	遺言者が公証人に口述し、公証人が作成する	遺言者が作成し、遺言書に捺印した印で封印する
証人	不要	（イ）	2人以上
検認	（ウ）	不要	必要

1. （ア）：遺言者が全文、日付、氏名を自書し、押印するが、「平成23年9月大安吉日」と日付を記載した場合、遺言書は無効となる。
2. （イ）：公正証書遺言は法律に精通した公証人が作成することから、証人の立会いは不要とされている。
3. （ウ）：相続発生後、家庭裁判所の検認が必要とされている。

【第7問】下記の（問15）～（問20）について解答しなさい。

<設例>

栗原遼次さんは、株式会社STに勤務する会社員である。平成23年4月に待望の第一子が生まれたこともあり、今後の生活設計について真剣に考えようと思い、ファイナンシャル・プランナー（FP）で税理士でもある笹垣さんに相談をした。なお、下記のデータはいずれも平成23年9月1日現在のものである。

<家族構成>

氏名	続柄	生年月日	年齢	職業	備考
栗原 遼次	本人	昭和53年6月16日	33歳	会社員	
雪穂	妻	昭和59年5月4日	27歳	会社員	育児休業取得中
真希	長女	平成23年4月20日	0歳		

<保有資産（時価）>

（単位：万円）

金融資産	
普通預金	450
定期預金	800
投資信託	50
生命保険（解約返戻金相当額）	40

<負債残高>

なし

<マイホーム>

遼次さんは、定期預金800万円のうち500万円を頭金とし、民間金融機関で2,300万円の住宅ローンを組んで、2,800万円のマンションを購入したいと考えている。

<その他>

上記以外については、各設問において特に指定のない限り一切考慮しないこととする。

問 15

F P の笹垣さんは、栗原家の（マンション購入後の）バランスシートを作成した。下表の空欄（ア）にあてはまる金額として、正しいものはどれか。なお、＜設例＞に基づいて解答することとし、＜設例＞に記載のある情報以外の情報については一切考慮しないこととする。

＜栗原家の（マンション購入後の）バランスシート＞

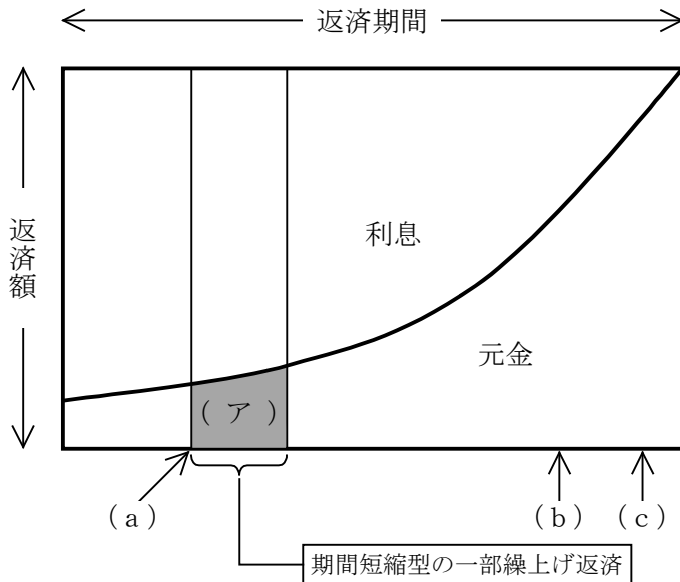
（単位：万円）

[資産]		[負債]	
金融資産		住宅ローン	×××
普通預金	×××		
定期預金	300		
投資信託	×××		
生命保険（解約返戻金相当額）	×××	負債合計	×××
不動産（マンション）	2,800	[純資産]	(ア)
資産合計	×××	負債・純資産合計	×××

1. 1,340（万円）
2. 2,300（万円）
3. 3,640（万円）

問 16

遼次さんは、マンションを購入するに当たって、住宅ローンについての理解を深めておきたいと思い、FPの笹垣さんに質問をした。笹垣さんが説明の際に使用した下図（住宅ローンの返済についての図）に関する次の記述のうち、最も適切なものはどれか。



1. この図の住宅ローンの返済方法は「元金均等返済」を表している。
2. 図の（a）の時期に期間短縮型の一部繰上げ返済を行った場合、繰上げ返済額は（ア）の元金部分に充当される。
3. 図の（b）の時期よりも（c）の時期に全部繰上げ返済を行った方が、繰上げ返済による利息軽減効果は大きくなる。



### 問 17

遼次さんは、平成23年中にマンションを購入して、住宅借入金等特別控除（以下「住宅ローン控除」という）の適用を受けたいと考えている。FPの笹垣さんが行った住宅ローン控除に関する次の説明のうち、最も適切なものはどれか。なお、購入するマンションは、認定長期優良住宅には該当しないものとする。

1. 「住宅ローン控除の適用対象は新築住宅のみであり、中古住宅や既存住宅の増改築については、他の要件を満たしていても、住宅ローン控除の適用対象とはなりません。」
2. 「住宅ローン控除の適用を受ける年分の合計所得金額に制限はありません。」
3. 「住宅ローン控除の控除期間は10年間です。」

### 問 18

遼次さんと雪穂さんは、今後15年間で貯蓄をして、長女の真希さんの大学進学費用として250万円を準備したいと考えている。年利1%で複利運用できるものとした場合、250万円を準備するために必要な毎年の積立金額として、最も適切なものはどれか。なお、下記<資料>の3つの係数の中から最も適切な係数を選択して計算し、円単位で解答することとする。また、税金や記載のない事項については一切考慮しないこととする。

<資料：係数早見表（年利1.0%）>

	現価係数	減債基金係数	資本回収係数
15年	0.861	0.062	0.072

1. 143,500円
2. 155,000円
3. 180,000円

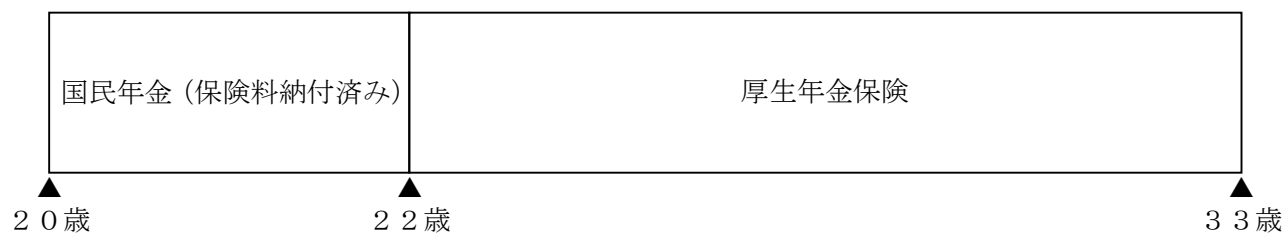
### 問 19

遼次さんは、将来受け取ることができる年金についてきちんと理解をしておきたいと思い、FPの笹垣さんに質問をした。笹垣さんが行った老齢基礎年金に関する次の説明のうち、最も適切なものはどれか。

1. 「老齢基礎年金は、受給資格期間を満たしていれば、原則として60歳から支給されます。」
2. 「老齢基礎年金は、所定の要件を満たしている場合には、繰り上げて受給することもできます。」
3. 「満額の老齢基礎年金の額は、平成17年度から一定の額に固定されており、今後も変わることはありません。」

### 問 20

遼次さんの公的年金加入歴は以下のとおりである。仮に、現時点（33歳）で、遼次さんが不慮の事故により死亡した場合、遼次さんの死亡時点において雪穂さんに支給される公的年金の遺族給付に関する次の記述のうち、最も適切なものはどれか。なお、遼次さんは、入社時（22歳で入社）から死亡時まで厚生年金保険に加入しているものとし、遺族給付における生計維持要件は満たされているものとする。



1. 遺族基礎年金は支給されるが、遺族厚生年金は支給されない。
2. 遺族厚生年金は支給されるが、遺族基礎年金は支給されない。
3. 遺族基礎年金と遺族厚生年金が支給される。